

■ 品種



# 秋田紅あかり



■ ご紹介

秋田県の北部と県南部で栽培されており、主に北部での生産が盛んとなっています。また、寒暖差のある気候により実が引き締まり、酸味が非常に少なく甘みのあるりんごです。

■ 特徴

千秋と王林を掛け合わせた秋田県オリジナル品種です。見た目は鮮やかな紅色で星を散りばめたような果点が特徴です。甘みが強く酸味が少ないので、幅広い年代に好まれる食味になっています。

■ 梱包形態



発砲スチロールに、褐変対策として消石灰の小袋を入れています。



■ おすすめの食べ方

生食

■ 食べごろ

11/上旬の収穫直後から2月下旬まで。

■ 輸出可能時期

11月～2月

■ 輸出対象地域

東南アジア

■ 生産・出荷行程ムービー

生産地である秋田県鹿角市の農園にトリップできる動画をQRコードからお楽しみいただけます。




 ■ 事業者名

## 全国農業協同組合連合会秋田県本部



MADE IN JAPAN

## ■ 住所

〒010-8558  
 秋田市八橋南二丁目10番16号秋田県 J Aビル

## ■ 連絡先

TEL : 018-864-2491  
 E-MAIL : minamimoto-ryuuichi@zennoh.or.jp  
 URL : なし

## ■ 輸出体制・施設整備

輸出の取組みを開始した2013年から秋田紅あかりを輸出し、継続した取組みにより輸出数量は拡大傾向となっています。また、香港バイヤーを2015年10月に本県に招聘し J A かつのの園地視察、現地での販売企画の模索と商品規格の検討を行いました。

## ■ 海外でのPR活動

香港を中心に輸出していますが、今後はシンガポール等の東南アジアへの輸出に取り組んでいきたいと思っています。香港での販売促進活動は、年1回程度積極的に消費宣伝を行ってきました。

## ■ 事業者（産地）の特徴・強み

秋田県県北、県南地区は有数のりんご産地です。特に県北地区の鹿角市には平成17年に誕生した秋田県オリジナル品種「秋田紅あかり」の園地が広がります。昼夜で寒暖差の激しくなるこれらの地域で育つりんごは甘みが凝縮されるのが特徴です。「ふじ」と比較しても果皮を被る皮の色が濃いのも特徴です。

## ■ 生産量・輸出量情報

品種の作付面積	秋田紅あかり	22ha
生産量		140 t
輸出可能数量（年間）		20 t
輸出可能数量（1回あたり）		1000kg
輸出可能最小ロット		1000kg
輸出国別の輸出総量	香港	約24 t

## ■ 商標・認証

商標の有無	なし
GI取得の有無	なし
各種認証取得状況	なし